

！！三年連続・今年度も定例総会中止 苦渋の決断！！

支部長 松木 茂夫

第 6 波をもたらしたオミクロン株主流型 BA・1、に代わり派生型で感染力の強い BA・2 が主流となっているが、さらに、オミクロン型から派生した XE ウイルス感染者が空港入国者で確認されている、海外との交流が頻繁になるとオミクロンから XE に置き換わる可能性が高く、感染者数の高止まりで第 7 波が懸念されています

ますます収束状況が不透明な中会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

東京オリンピック・パラリンピック・北京冬季オリ・パラリンピックも何とか無事終了しホットしているのではないのでしょうか。

なんといってもビックニュースは「箱根駅伝シード権」10 年ぶりの確保ではないのでしょうか。

(第 98 回箱根駅伝・総合 6 位)

テレビ映像に映る赤い {C} のマークを胸につけ力走する選手たちに見入っていたのではないのでしょうか。

3/21 に第 6 波のまん延防止特別措置等が解除されましたが、ウイルスそのものが収束するわけではない。

ウイズ・コロナ時代になり、見えないウイルスと共存していかなければならず、オンライン・インターネット・キャッシュレス等の利用を現実として受入れ、テレワークの浸透や近時、週休 3 日を打ち出す上場企業も現れるなど、テレワークの浸透等、私達自身にも大胆な意識改革が必要となってきているのではないのでしょうか。

一方、感染拡大の抜本的な防止・経済との両立・安心安全な国産のワクチンと治療薬の実現を早期に確立されることを期待しています。

一方、2023 年度に法学部の都心移転が(文京区大塚茗荷谷キャンパス)理事会で決定された。感染対策を実施しての卒業式・入学式や新年度からの対面授業を開始するなど始動し始めた。

又一昨年度・昨年度に引き続き、今年の支部活動は総会・役員会・各種行事等全て中止と決定しました。三役会・役員会は原則メールでの書面審議とし対面を避けての実施を心掛けています。また、大学・学会等各種行事も延期や中止となっており、一日でも早く平常に戻ることを祈るばかりです。

このような環境下で会員相互の交流・情報交換等をどうすべきか悩みましたが、唯一の方法として支部会報の発行(6/1 発行第 32 号・12/1 発行 33 号)と支部 Hp の継続を実施する事と致しました。会報発行に際し、森山功相談役には会報の構成・印刷を岩淵義昭事務局長には発送作業をお願いし、ご苦勞をおかけしましたが無事皆様方にお届けすることが出来ました。

原稿の寄稿等でご協力いただきました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

今後共会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。大石克義副幹事長には Hp 掲載等ご協力に御礼申し上げます。

幸いなことに当支部会員から新型コロナウイルスに感染されたとの報告はありませんが、見えないウイルスとの闘い油断は禁物です。自粛生活も 3 年目になりますが、特に感染力の強い派生型ウイルスが猛威を振るい始めましたので体調を崩さないよう十二分に健康にご留意され、早い時期にお会いできる日を楽しみにしております。

以上